2024 年 8 月 22 日

阪急交通社　日本大学国際関係学部　三島市観光協会
交流人口増加に向けた産官学連携企画ツアー

三島市の魅力を体験、地域の学生とめぐる
12 月 1 日発「富士山・うなぎ　三島の魅力ぎゅぎゅっとツアー２日間」発売

株式会社阪急交通社（大阪市北区梅田 代表取締役社長 酒井淳）、日本大学国際関係学部（静岡県三島市 学部長 渡邊武一郎）、三島市観光協会（静岡県三島市 会長 西原宏夫）は、３者共同で産官学連携による東京発「富士山・うなぎ　三島の魅力ぎゅぎゅっとツアー２日間」を発売しました。

静岡県三島市は、伊豆/箱根/富士山などの日本でも有数の観光地に 1 時間程度でアクセスできることもあり、全国から年間 677 万人という多数の観光客が訪問しますが、一方で宿泊客数は 33 万人で宿泊率 4.8%[*1] と、“通過観光地”（乗換地）となっています。しかしながら、三島市は大自然や味覚などの観光素材が豊富で、東海道新幹線「三島駅」や東名高速道路にもほど近い立地により首都圏や中京圏からのアクセスも良く、観光地として魅力的なロケーションです。

このたび、三島市で観光を素材にした地域活性化を学ぶ日本大学国際関係学部 矢嶋ゼミナール３年生が、三島市観光協会のアドバイスを受けながらツアーを企画。地域を熟知した学生がお客様をホームグラウンドである三島で“もてなすツアー”をコンセプトにしました。ツアー実施は、阪急交通社が担当します。
最大のマーケットである東京の消費者のみなさんに、“近いのに知らない”三島の魅力を伝えることで、くり返し三島を訪れていただく契機を創出し、交流人口の増加（サスティナブル）を目指します。

＊ 1：令和元年度：静岡県観光交流の動向より。
参考：隣自治体の宿泊率：熱海市→77.3%　伊豆の国市（伊豆長岡地区）34.1%

１．ツアー概要

ツアー名：【東京発】大学生と周遊！箱根西麓で野菜収穫！
富士山・うなぎ　三島の魅力ぎゅぎゅっとツアー２日間
日　　程：2024 年 12 月 1 日（日）出発／1 泊 2 日　＊ツアーは 1 設定日のみ
販売価格：39,900 円（おとな 6 歳以上　2 名 1 室）　＊1 名 1 室利用は 1 万円増
Ｈ　　Ｐ：https://www.hankyu-travel.com/tour/detail_d.php?p_course_id=35210&p_hei=10&p_baitai=9582
＊詳細は、別添付募集広告及び HP をご覧ください（学生が登場するツアー紹介動画あり）。

1	上野駅 ～ 新宿駅 ～ 松韻（うなぎの昼食）～ **登録有形文化財「隆泉苑」にて三島の人気の和菓子兎月園の上生菓子作り体験** ～ 三嶋大社（正式参拝）～ **三島市中心街の散策（学生がご案内)** ～ 伊豆箱根鉄道体験乗車（三島広小路→三島）～ ホテル到着後、ご希望の夕食スポットをご紹介／ホテルロビーにて**地酒や静岡茶を飲めるコーナーを設置** 【富士山三島東急ホテル（泊)】
2	ホテル発 ～ **箱根西麓野菜農家にてニンジン収穫体験** ～ みしまるかん（JA ふじ伊豆直営のファーマーズマーケット）～ 日本大学 国際関係学部 三島駅北口校舎（富士山を一望し、時速 250 ㎞で走行する新幹線も眼下に望む**学生食堂で昼食**）～ 富士山ビュースポット（三島市内からの富士山絶景ポイント「三島富岳三十六景」から選定）～ 三島スカイウォーク ～（日大生と一緒に全長 400mの日本最長の人道吊橋を渡る）～ 新宿駅 ～上野駅

２．ツアーのポイント

・静岡県三島市に所在する日本大学国際関係学部矢嶋ゼミナールの学生が三島市内の街歩きをくり返し、基本案を作成。その内容をもとに、三島市観光協会/阪急交通社へのプレゼンを重ね、議論、地域内での調整のうえ商品化しました。

・ツアー当日のバス添乗、観光地での案内、食事施設の案内、ホテルラウンジでの地酒や静岡茶のふるまいは学生が担当します。段差が心配な方は学生がアシストするなど参加者の年齢層により、学生はお客様の旅行に対するニーズや“お気持ち”を理解し、社会に出る前の大きな学び（あるいは、職業選択時の参考）とします。

・ツアー終了後には、三島市や旅行会社などへの報告会を実施。翌年度以降、三島市を目的地としたサスティナブルなツアーの継続（マネタイズのモデル提言）を内外にアピールします。

・ツアー内容を広く地元（三島市民）のみなさんへ告知することにより、三島市民に三島観光のポテンシャルを理解いただくことを目指します。

矢嶋ゼミナールとは

観光を素材に地域活性化を研究するゼミナール。
今回は 3 年生 16 名（男性：6 名、女性 10 名）が担当。
学生の出身地は、茨城から長崎まで全国各地。
担教員：准教授 矢嶋敏朗

ツアーに関するお問い合わせ先

阪急交通社　メディア国内　東京 0570-08-9600
月～金 9：30～17：30、土日祝　9：30～13：30

矢嶋ゼミナール　三島市内で活動の様子

商店街ヒアリング（お茶店 100 年の山田園様）

和菓子作り体験協力「和カフェ兎月園」との打合せ

1 日目昼食　松韻（うなぎ店）下見風景

三嶋大社視察（手水の作法を学ぶ）

箱根西麓野菜農家視察時に

学生の企画内容を阪急交通社/三島市観光協会へプレゼン

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞
株式会社阪急交通社　広報部
〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9　TEL：03-6745-7333 ／ FAX：03-6745-7351

※ツアー当日、取材を希望される方は、阪急交通社広報部までご連絡をお願いいたします。